

授 業 科目名	【 G 】 【 H 】	フレッシュマン・セミナーⅡ フレッシュマン・セミナーⅡ	区 分 必 履 修		開講年次	【 G 】 1 【 H 】 1	単位数	【 G 】 2 【 H 】 2
科目区分	基本科目							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独							
施行規則に定める科目区分又は事項等								
サブ タイトル	一般教養と発表力を身に付けよう				担当者	田中 將之		
授業概要	【概要】	大学生に求められる一般教養・時事教養に関する基礎的な知識の習得を目指す。とりわけ数学の基本を重視し，論理思考能力の向上を目指す。さらに，社会で起こった様々な出来事に関し論点・背景などを調査しまとめ，それを発表していくためのスキル習得を目指す。						
	【到達目標】	①大学生が必要とされる時事教養・一般教養に関する基礎的な知識を身に付けることができる。 ②現代社会の諸問題に関する理解を深め，発表に関する基礎的なスキルを身に付けることができる。						
履修条件	とくになし。							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【○】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		－ （当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		－ （当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		◎ （よく当てはまる）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		－ （当てはまらない）					
他科目との 関連性	とくになし。							
教科書	とくになし。							
参考書	とくになし。							
評価方法	授業参加への意欲・態度・取り組みの姿勢(50%)、発表や課題提出状況・内容(50%)を総合的に評価する。							
フィードバック 方法	課題やレポートへのコメント，発表へのコメントで行う。							
評価基準	上記の評価方法に基づき毎回チェックを受け、達成率90%以上がS。80%以上がA。以下、70%以上がB、60%以上がCとなり、左記条件を満たさないものをD以下とする。なお、出席状況が悪い場合など評価不能の場合には F とする。							

授 業	【 G 】	フレッシュマン・セミナーⅡ	区 分	開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 2
科目名	【 H 】	フレッシュマン・セミナーⅡ	必 履 修		【 H 】 1		【 H 】 2
授業回数	授業内容						
授業内容	1. ガイダンス (1) 一般教養, 中でも数学の解法をなぜ学ぶのか, それを続けるのか理解する。 (2) 上記作業が, 就職のみならず将来の自己の目標達成のための最善かつ必須の手段であるということを理解する。 2. 具体的な作業内容 (1)基礎的な数学の問題を解く (2)敬語の使い方などの表現学修, 歴史・地理に関する学修 3. プレゼンテーション (1) 事前に調査し, まとめた資料を用いて, 15～20分程度で与えられたテーマについて説明してみる。 (2) 聴衆者との質疑応答により, コミュニケーション能力を磨く。 4. まとめ (1) いわゆる一般教養・時事教養の基礎を身に付けることができたか, 振り返りを行う。 (2) 人前で「語る」ことの難しさをどのように感じたか, どのようにすればより説得力があったかに関する振り返りを行う。						
予習内容	授業で指示があったプリント, テキスト等の範囲や資料などを熟読する。また, 各自の設定したテーマに沿って, 文献検索を行う。 授業ごとの予習時間は120分程度を目安としてください。						
復習内容	授業ごとの復習時間は120分程度を目安としてください。						
その他	とくになし。 ※G・Hカリ:【必履修(○お)】						